

上田市教育委員会 3月定例会会議録

1 日 時

平成 22 年 3 月 24 日 (水)

午後 3 時 30 分から 4 時 15 分まで

2 場 所

上田市教育委員会(やぐら下庁舎) 2階会議室

3 出席者

委 員

委員長職務代理者	金子 泰子
委 員	生田千鶴子
委 員	春原 秀一
教 育 長	小山 壽一

説 明 員

小市教育次長、廣川教育参事、小野塚教育総務課長、中村学校教育課長、原澤生涯学習課長、澤山人権同和教育政策幹、中部文化振興課長、細川体育課長、清水丸子地域教育事務所長、荒井真田地域教育事務所長、伊藤武石地域教育事務所長、金井丸子学校給食センター所長、浅野中央公民館長、山崎城南公民館長、林博物館長、竹花丸子金子図書館次長

<協議事項>

- 1 上田市公の施設の附属器具使用料等の徴収等に関する規則一部改正について
資料1により小野塚教育総務課長説明

生田委員

現行規則の中で1時間290円と190円に分かれているがこの違いは何か。

小野塚教育総務課長

この区分については体育館に付いている照明器具の種類により設定されている。
水銀灯の場合が290円、蛍光灯の場合が190円である。

金子委員

水銀灯の方が蛍光灯より100円高いのは何故か。

小野塚教育総務課長

この料金はそれぞれの施設における1時間あたりの電灯使用の実費相当額の平均値により割り出している。ちなみに照度としては概ね500ルクス以上あることが望ましいとされているが、神科小新体育館の場合最低700ルクスから最高1600ルクスまでの照度となる。

全委員 了承

<報告事項>

- 1 うえだ子ども文化祭開催報告について
資料2により中部文化振興課長説明

春原委員

昨年よりも120人も参加者が増えたことは素晴らしい。参加団体の増減はあったか。

中部文化振興課長

加盟団体の数は昨年と同じである。現在文化少年団の加盟団体は10団体である。そのうち、9団体が参加し、昨年より1団体増によるものとゲスト参加があったことによる。

金子委員

子ども実行委員の感想は何か聞いているか。

中部文化振興課長

最後に子どもたちから感想を聞かせてもらった。最初はドキドキした、知らない人たちと友達になれて良かった等の感想があった。

2 本のリサイクル市について

資料3により竹花丸子金子図書館次長説明

生田委員

どのような系統の本が人気であったか。

竹花丸子金子図書館次長

一番人気があったのは小説と子どもの絵本である。絵本は制限をしないとすぐに無くなってしまうので、2日目にも渡るよう冊数制限した。分類上小説類が一番多いので小説も人気があった。

3 寄附報告

資料4 - 1により中村学校教育課長説明

資料4 - 2により中部文化振興課長説明

生田委員

学校教育活動支援事業にたくさん寄附をいただいているが、この寄附金は特色ある学校づくり事業等に使われるのか。

中村学校教育課長

ふるさと寄附金の中にメニューがいくつかあり、その中の一つが「がんばれ子どもたち！学び舎応援」というもので学校教育活動支援に充てられる。この寄附金は、特色ある学校づくり事業に直接交付されるものではない。寄附としては学校図書、楽器、教育上の備品等も頂いており、基金は現在30万円程ある。これは今後様々な教育活動に有効に充てていく。

春原委員

丸子中央小学校ではP T Aからの寄附がいくつかあるが、どのような経過でいただいているのか。

金子委員

22番に19年度卒業記念とあるがこれはどういう意味か。

清水丸子地域教育事務所長

寄附は、その年度ごとに頂いていたが、今回まとめて寄附報告をさせていただいたものである。

春原委員

P T Aの寄附は、前年度したから今年もと引き継がれていく場合がある。楽器を寄附されたケースもあり、どのような経過で寄附が決まったのかP T A内部の状況を把握していくことが大事である。自然な形で寄附を受けるのはいいが、いつもしているからということであると気をつけなければいけない。

4 行事共催等申請状況について

資料5 - 1により小野塚教育総務課長説明

資料5 - 2により中村学校教育課長説明

資料5 - 3により原澤生涯学習課長説明

資料5 - 4により中部文化振興課長説明

生田委員

学校教育課の24番「T O S S春の学級経営・授業研修会」、25番「発達障害の理解と対応講演会」は学校にも案内が行っているか。参加は任意になるのか。

中村学校教育課長

T O S Sは先生方に連絡がいつている。発達障害の関係は今回初めてで申請書類を見ただけではよくわからないが、対象者が保護者・教師・保育師・医療関係者・希望者となっているので何らかの形で連絡は行くと思う。

生田委員

上田市の教育の中で発達障害のことを課題にするが、よく理解していないことから先生方も悩んでいる。このような講習会に出席し子どもたちのことを理解することで充実した係わり方が期待できる。是非先生方に聞いてもらいたい。

上田市の教育支援プランの中でも「カウンセリングマインドの研修など、子どもたちに係わる全職員が学ぶ機会を充実する」と謳われている。子どもたちをより理解するため、また先生方自身のために多くの方に出席してほしい。

小山教育長

現在県の教育委員会から特別支援教育にどう取り組んでいくか骨子が出されてきたところであるのでそんな関係の研修会が総合教育センターでもあると思う。また、信濃教育会等でも研修が継続されていくと思うので、そのような研修機会は充分あると考えてよい。

金子委員

関連であるが地区代表の植松文江さんは医者か。

中村学校教育課長

そこまでは分からない。

金子委員

医師会が中心になっての講演会であるので目的がカウンセリングマインドとはずれていると思う。

中村学校教育課長

詳細は分からないが講演の先生は原美智子さんで、東京女子医大を卒業して現在群馬大学の名誉教授であり、医学博士、小児科の専門医の経歴を持つ方である。

金子委員

どちらかというと治療の方に主眼が置かれているのではないか。

5 その他

資料「公民館だより」により浅野中央公民館長説明

生田委員

今月上野が丘公民館のテーブルマナーの研修会に息子 2 人と参加したが、10 名位の参加であったがとても好評だった。有意義な時間が持て感謝している。

金子委員

中央公民館の「129 の団体を紹介したら問い合わせがたくさんあった」というのは面白い。関心のある人がそれだけ多いということである。

金子委員

以上で3月の定例教育委員会を終了する。